

いじめ防止アニメーション



いじめはゼツタイわるい!

企画意図

小学校・低～中学年むけの、いじめ防止アニメーション。
ハッキリといじめを嫌悪し、いじめに加担せず、ためらうことなく先生や親に知らせる……
そうした行動をとるための力を、幼い時期の子どもたちに植えつけます。
たとえ今はクラスにいじめがなくても、高学年から中学生へと成長していく中で、
いじめと向き合わなければならない瞬間が、どの子どもにもきつと来るでしょう。
その時こそが、このアニメによって得た力を子どもたち自身が発揮する時なのです。

監修 福生市教育委員会 参事 嶋崎 政男

上映時間 12分 [C#0112]

ビデオ版 63,000円 (本体 60,000円)

16ミリ版 126,000円 (本体 120,000円)

小学3年生の健一は、近ごろ学校へ行くのがつらい。
茂樹・広平・浩の3人にいじめられているのだ。
浩なんて、大の仲良しだったはずなのに……。

学校の帰り道、健一の前にひとりの中学生が現れる。

「お兄さん、だれ？」

「いじめを憎む正義の味方、な～んてな」

洋介と名乗るその中学生は、自分も小学生の頃からいじめられていたと言う。

「いいか。いじめられたら、先生でも誰でもいいから大人に知らせて助けて
もらうんだ。それは全然、卑怯なことじゃない。いじめるヤツらがゼツタイ
に悪いんだ」

そう教わった健一は、勇気を出して先生に打ち明けた。

健一へのいじめはなくなった。しかし……

数日後の朝。通学路の途中。

健一は見た。こんどは浩がいじめの標的にされている。

しかし健一は知らんぷりをして通り過ぎようとする。

その様子を見ていた洋介が、健一を怒鳴りつけた。

「いじめを見て知らんぷりするの、お前もいじめをやってるのと同じことな
んだぞ! お前みたいなヤツがいるから、いじめがなくならねえんだろがぁ!」

弾かれたように駆け出し、先生を呼んでくる健一。

浩を助け、あたりを見回した時、洋介の姿はもうなかった。

帰り道。一緒に歩く健一と浩。

「茂樹と広平が怖くて助けられなかったんだ、ごめん」

浩はそう言って、健一に謝った。

「ボクだって、知らんぷりしようとしたんだ。そしたらすごく怒られた」

「誰に？」

「中学生のお兄さん……あ、そうだ」

健一は、お礼を言うために洋介の家に向ったのだが……。



プロデューサー 川越 英一／尾崎 正善
脚本 占部銀四郎
監督・絵コンテ 日下部光雄

作画監督 飯村 一夫
美術監督 湖山真奈美
音響監督 菅原 三穂

アニメーション制作協力……スタジオ・ザイン

企画・制作……東映株式会社 教育映像部

2007年作品

S.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……